

(1)

菅首相が「辞意」

自民総裁選不出馬 コロナ対応で引責



自民党の臨時役員会に臨む菅首相。後方は二階幹事長。3日午前、東京・永田町

菅義偉首相は3日、辞任する意向を固めた。自民党臨時役員会で総裁選（17日告示、29日投票）に立候補しない意向を表明した。新型コロナウイルスに関する政府の対応が不十分との批判が続く。次期衆院選を前に求心力低下の責任を取る格好だ。菅政権は就任から約1年での幕引きとなる。

首相は2日午後、党本部で二階俊博幹事長と会談し、出馬の意向を伝えたとされていた。総裁選には岸田文雄前政調会長や高市早苗前総務相が出馬の意向を表明している。自民党は後任の新総裁選出を急ぐ。

首相は、官房長官として約7年半支えた安倍晋三前首相が持病悪化で辞任表明した後の自民党総裁選で勝利し、昨年9月16日、第99代首相に就任した。安倍政権の経済、外交政策を継承。新型コロナウイルス対策を最優先課題とし、行政の縦割り、既得

愛媛新聞
月額 3,400円
(税込み)

+ 電子版

ご購入契約者は追加負担なし
※電子版のみのご契約も可能です

定期購読のお申し込みは



0120-894646

※電子版、愛媛新聞モバイルともに通信料は別途必要です。

スポーツ・選挙速報をケータイで!
NEWSmart
愛媛新聞モバイル
月額 330円(税込み)

